

令和7年度 八王子市立浅川小学校 学校経営計画

校長 藺田 賢志

はじめに

昨年度、東京都の教科担任制等推進校として活動し、今年度は教科担任制加配校として取り組み、高学年教科担任制で2年間の指導を受けた卒業生を送り出します。

高学年は音楽や図工、家庭科、理科、外国語のそれぞれの専科が授業を行い、各担任も社会、国語、体育などを分担して受け持つことにより、専門性の高い教員の習熟した指導が可能となり、併せて学年団を中心とする多角的・多面的な児童との関係性に基づく生活指導を行ってまいりました。

さらに今年度は、教科担任制の高学年における取り組みに加え、1～4年生は教員配置を昨年度とほぼ同じにして、習熟度の高い授業と生活指導の充実を目指しました。多くの先生方が2年続けて同じ学年の指導にあたることで、去年と同じ内容の教科等指導を行い、慣れた学年の学級経営、行事等の運営を行い、働き方改革を進めるとともに教育活動の充実を図っていきたいと考えています。

また、昨年度に引き続き、地域を学ぶ郷土学習や人間関係の醸成・主体的な活動を重視する特別活動、お互いを思いやることを基本とした人権教育、ESD教育とSDG s教育、GIGAを活用した教育活動などを、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図りながら進めてまいります。

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基調とした知性や感性、道徳心を身に付け、健康で、たくましく豊かな人間性を培う。併せて、地域社会や世界と関わる中で自己実現を図り、国際感覚や社会性、主体性、創造性が調和した、地域を愛する「ふるさと高尾 ふるさと浅川 心豊かな浅川の子」の育成をめざし、地域運営学校として家庭や地域と連携・協働し、社会に開かれた教育課程を実現する。

2 めざす児童像

「ふるさと高尾 ふるさと浅川 心豊かな浅川の子」

知・徳・体の視点から見た子どもたちの姿が以下の児童像となる。

- ◎自ら学び 高め合い やりぬく子ども
- 思いやりをもち お互いを認め合える子ども
- 明るく 元気で たくましい子ども

3 めざす教師像

- 健康で明るく、元気で前向きに取り組む教師
- 特別活動や特別支援、教科教育等の研修に励み、向上をめざす教師
- 安全を基盤とした教育活動を、設計・コーディネートできる教師
- 社会の中で生きていく人を育てているという使命感をもった教師
- 社会の常識をそなえ、教育公務員としての自覚をもつ教師
- 学校の課題を自分事として捉え、組織的に解決する教師

4 めざす学校像

- 子どもも教師も笑顔溢れる前向きな学校(学びたい・挑戦したい・がんばりたい・充実させたいなど)
- コミュニティスクールとして地域とつながる学校(学校を応援したい・子どものために取り組みたい)
- 持続可能な社会を考える児童を育成する学校(SDG s・ESDなどを通し、広い視野で未来を考える)

5 中・長期的展望

- 地域とつながる教育活動を展開し、地域と協働的な開かれた学校をつくる。
- 人生を切り拓いていくために必要な資質・能力（AI がもたらす社会変化・何ができるようになるのか）という考え方をベースにした教育活動。
- ダイバーシティ&インクルージョンの視点からの「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実。

6 令和7年度の主な教育活動（取り組み目標と方策 ◎重点目標）

◎確かな学力の育成（教科担任制・GIGA スクール構想に対応した教育活動の構築）

- （1）教科担任制による授業の充実
- （2）GIGA 部の校内組織への常設、全学年の系統性を包含した ICT 教育活動の計画
- （3）教科等の教育活動や特別活動における ICT の活用場面の促進
- （4）個別最適化・協働的な学びを意識した授業の実施
- （5）ICT を活用した個に応じたミライシードの活用
 - ※習得目標問題やはちおうじっこミニマムに的を絞った活動の設定
 - ※2年継続した同学年を担当する教員の学年配置による学習指導の充実
 - ※小中一貫教育の充実（小中の交流活動・校内研究の系統的な学び）

◎系統性や環境等を考慮した特色ある郷土学習の実践

- （1）全学年で郷土学習を計画的に実施
- （2）地域の方と連携した人につながる教育活動
 - ※ 日本遺産である高尾山を中心とした地域学習の充実

◎児童の恒常的な人間関係の醸成

- （1）人権教育の充実（特別活動・道徳教育・教育相談・特別支援教育）
- （2）自己実現・人間関係形成・社会参画を意識した特別活動の充実
 - ※人の気持ちが分かる、思いやりのある子どもの育成

◎地域・家庭との連携（信頼される学校づくり）

- （1）学校だよりを始めとした諸連絡の Home&School の活用
- （2）保護者会・学校公開・アンケート等の ICT の活用
- （3）ゲストティーチャーや授業サポートの協力の依頼
- （4）学校運営協議会、PTA をはじめ、各組織と連携した学校運営。
 - （19町会・自治会、社会福祉協議会、青少対、安全ボランティア、はちビバ等）
 - ※地域を基盤とした、過去からつながり、今を積み重ね、これからの未来を創る教育

◎SDG s・ESD の視点を取り入れた教育活動の充実

- （1）ユネスコスクールへの正式登録と取組の深化（ユネスコスクールからの学び）
- （2）給食・保健・衛生指導の充実（SDG s・ESD の学び）
- （3）地域学習や環境改善事業から考える（環境改善事業・地域学習からの学び）